



2017年10月号

Vol. 55

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目1-1
TEL: 082-815-5211 (代表)
<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>

5年後の新病院を想像して

“安佐市民病院の平林です”と病院外で挨拶する機会が増えましたが、決まって問われることがあります。

“もう新しい病院に移ったの?”とか“今工事はどれ位進んだの?”等の病院新築移転に関する質問です。

“移転は大凡5年先の春の予定なので、まだ土地の整備も始まっていません”とお答えすると、ほとんどの方が“まだそんなに先の事?”と、ちょっと拍子抜けした反応になります。

そんな状況を知ってか知らずか、広報誌編集委員から『建て替えに関する情報発信』の依頼がありました。

まだ大枠しか決まっておらず、病院の形は見えていません（プロポーザルの時に出ていた案が新聞紙上等に公開されましたが、それは基本設計前の話です）。実際の病院の形（内外観）は、今各部署が一生懸命将来を見据えた形を模索している最中です。

それでは今公開できる情報は??

まず、現病院以上の広島市安佐南区から広島県境を越えた島根県の一部までの広域医療圏をカバーする広域・高度急性期病院を作ることが前提です。病院機能以外のことで確定していることとしては、あき亀山駅に直結し病院入り口まで雨に濡れることなく入れる構造であること、病院の1、2階には外来・救急・手術関連の機能や検査機能を持たせるだけではなく、災害時に多くの人を収容することが出来るように3階以上の病棟が入る部分よりもかなり広くなること、3階以上は主に入院病棟でプロポーザルの時に提案された十字の形で4つの病棟が中央部で繋がった形になり、最上階にはヘリポートが設置されることなどはほぼ決まっています。

もっとも、これだけでは“まめでがんす”を読んで頂いている安佐市民病院のファンの皆様は到底納得されないと思いますので、未確定ですが比較的確度の高い情報をほんの少しお知らせします。但し、H29年9月初旬時点ではまだ未確定ですので、変更がある可能性は十二分にあることをご理解ください。

JR可部線の終点で、バスやタクシーの為にロータリーが駅前広場（現あき亀山駅の太田川側）に整備される予定ですが、それでも多くの患者さんは、ご自身あるいはご家族の運転で来院されることが想定されています。もちろんこの場合も病院の地下に駐車場を整備しますので、雨に濡れたり雪の積もった冬道を歩く必要はありませんが、地下からの上り口を工夫し、病院の受付に直結出来るように出来ないかと考えております。ちょうど郊外型の大型モールで、正面玄関からだけでなく駐車場からで



病院長

平林 直樹

特集記事

- ★食道がんの早期発見
- ★認知症も、かかりつけ医に相談を



一時は満室だった看護宿舎

も直接売り場に行くイメージです。これが上手く出来れば、あき亀山駅、バス停等から病院に入ったところに予定されている吹き抜けの空間が、病院の正面玄関としての利用以外に地域開放スペースとしても用途が広がり、今までの病院とは全く異なる賑わいがある空間を創出できるのではないかと考えております。

ハード面が決まれば、ソフト面は利用する皆様の工夫次第です。地域開放スペースは天候に左右されないものでイベントに最適ですし、特設の映画館にもなりそうです。また目の前の太田川の流れをレストランや屋上庭園から見ながらゆったりとした時を過ごしたり、地上駐車場と隣接する公園は青空市場やハイキングやサイクリングの拠点としても利用出来そうです。

5年後を想像してみてください。入院のお見舞いではなく、電車で自転車を積んであき亀山駅に降り立ちサイクリングをする、病院の玄関ホール（地域開放スペース）でのイベントを企画したり、参加したりする、週末だけ少しお洒落になるレストランで食事をする等、ちょっとワクワクしませんか?

すべての元となる基本設計の完了はすぐそこに来ています。次号での報告を楽しみにしてください。

食道がんの早期発見

— 何に注意すれば早く発見できるか? —



副院長・呼吸器外科主任部長・外科部長 向田 秀則

『まめでがんす』をご愛読の皆様、安佐市民病院 外科の向田です。今回は食道がんを早期に発見するには何に注意しなければならないかについてのお話をしたいと思います。

●食道がんであまり聞いたことないけど、患者さんは多いの？

食道がんの1年間の罹患率（診断される割合）は人口10万に対し17.5人で、年間約23,000人の方が新たに食道がんと診断されています。食道がんで死亡される方は人口10万に対して年間9.4人で、約11,200人の方が亡くなっています。広島県では人口が約280万人ですので、1年間に約500人が診断され、約260人が亡くなっている計算になります。

●では今回話題にする『早期の食道がん』とはどんなものなのでしょう？

早期食道がんの定義は、がんの進展が食道粘膜内にとどまるものです。つまりはがんが食道の表面しかないものです。この浸潤範囲にあるがんは、転移の可能性が極めて低く、手術ではなく内視鏡で粘膜を切除するだけで治ってしまうことが多いのです。合併症も少なく、食道もそのまま残るので体にも優しい治療と言えるでしょう。当院でも内視鏡内科の先生が積極的に施行しております。ただ、早期食道がんの割合は約13%程度で進行がんに比べるとまだまだ少ない状況です。

●早期食道がんではどんな症状に注意したらいいの？

食事を食べた時のしみる感じや痛みを訴えられる患者さんもありますが、約70%の方は特に症状はないのです。つまり、症状がある人の多くはすでに早期の食道がんではないことが多いのです。では、どうすればいいか？

●食道がんの危険因子（なりやすい人）を知っておきましょう！

一般的に言われている食道がんになりやすい人の特徴は

①年齢が60歳以上の人

患者さんの70%は60歳上の人です。

②男性

患者数を見ると女性1人に対し、男性は6人と圧倒的に男性に多い病気なのです。

③よくタバコを吸う人

1日のタバコの本数と喫煙年数をかけた数字を喫煙指数と言いますが、これが600以上の人。

④よくお酒を飲む人

毎日、日本酒にして1.5合以上飲酒される人。

⑤飲酒で顔が真っ赤になる人

このような方をフラッシュャーと言い、近年、注目されている危険因子です。『若い時は真っ赤になっていたけど、最近は強くなって真っ赤にならなくなったから大丈夫でしょう』と言われる患者さんもありますが、リスクは変わらないと言われています。飲酒で真っ赤になる人でタバコもよく吸う人は、なんと190倍のリスクがあるとも言われています。実を言うと私もフラッシュャーです。注意しないといけません。

⑥頭頸部がん（口や喉のがん）の既往がある人

食道がんの6%の方に頭頸部がんが合併することがあります。

⑦これまでに食道がんで治療経験がある人

私たちの研究では、食道がんの手術後に残った頸部食道や咽頭にがんができることが、術後5年の時点で10.5%あるのです。つまり10人に手術してこのうち一人は、残ったわずかな食道や咽頭にがんが発症していました。このため当院では手術後も、年に1回は内視鏡検査を行うことをお勧めしています。

以上のような因子がある人は、症状がなくともリスクが高いことを知っておいてください。

●早期食道がん発見のためにはバリウム検査でいいですか？

バリウムの検査は簡便ですが、早期の病変を発見することは難しいのです。CT、MRI、PETでもまずわからない。ちょっとしんどいけれども、内視鏡検査が最も有効です。検査時にルゴール染色やNBI（狭帯域光観察）などの検査を行えば、早期の病変を発見することが容易になります。もちろん、当院でも内視鏡内科の先生が行っています。

以上をまとめると、早期の食道がんでは多くの場合は自覚症状がないので、症状がないから絶対安心とは言えないのです。よく飲み、よくタバコを吸う人はリスクがあることを自覚してください。アルコールで真っ赤になる人は、特に注意が必要なため、内視鏡検査をお勧めします。

認知症も、かかりつけ医に相談を



脳神経内科主任部長

山下 拓史

最近、ご自身やご家族の「もの忘れ」が気になることはありませんか？さっき言ったことをすぐに忘れる。忘れて何回も同じことを聞く。忘れ物や置き忘れを頻繁にする。時間や日にちを忘れる。薬を頻繁に飲み忘れる。といったことはありませんか？以前はできていた趣味、仕事、家事、リモコン操作、お金の計算などができなくなっていますか？体調が悪いとか深刻な悩みがあるなど何か特別な原因があれば別ですが、普段通り生活して元気そうなのに「もの忘れ」や気になる言動がずっと続く場合には、認知症を発症している可能性があります。

年齢を重ねるとだんだんと認知症になりやすくなり、65歳以上の15%が認知症と言われています。わが国の認知症患者数は、平成24年に462万人に達し、近いうちに認知症を発症する

予備群（軽度認知障害）が、さらに約400万人いると報告されています（平成25年厚労省）。予備群を合わせて現在1,000万人以上と言われる認知症ですが、認知症は歳のせいでは済まされない脳の病気です。正確な診断がつけば、最善の治療が可能になります。

認知症が疑われるので調べてもらいたい場合には、一体誰に相談すればよいのでしょうか？答えは、いつも診てもらっているかかりつけの開業医の先生です。かかりつけの先生は自身の専門分野は違っても認知症の勉強をされています。もし認知症が疑われる場合には、かかりつけの先生から安佐市民病院や専門医療機関に紹介してもらえます。認知症も早期発見、早期治療が重要です。専門ではないから無理と早とちりしないで、何でも困ったことがあればまずは、かかりつけ医に相談しましょう。



お母さんと赤ちゃんの笑顔のために♡

2016年度に日本看護協会の認定を受けて、15名のアドバンス助産師が誕生しました。アドバンス助産師とは、院内助産・助産外来などで専門性を発揮し、自律して助産ケアを実践する能力を認証された助産師のことをいいます。専門的な知識と技術の向上のため、5年ごとの更新が必要とされています。

当院では、アドバンス助産師を中心に**助産外来**を担当しています。妊婦さんの快適な妊娠生活や自分らしいお産のため、また、様々な心配や疑問などにできるだけお答えできるよう、医師と連携をとりながら妊婦健診と保健指導を行っています。妊娠期から継続して関わることで安心して出産に臨めるよう、また出産だけでなく育児も見据えた支援をさせていただいています。助産外来を受診された妊婦さんからは「親身になって話を聞いてもらえて安心できた」「時間を気にせずいろいろ質問できて良かった」といった嬉しい声をいただいて、励み

北3病棟助産師

岡田 早里、長尾 裕佳子、中村 絵美

になっています。

今後は妊産婦さんやご家族の意向を尊重しながら、妊産婦さんが持つ力を十分発揮できるよう、助産師が寄り添い支援させていただく**院内助産システム**を取り入れていくために現在準備中です。



アドバンス助産師たち



認証バッチ

安佐市民病院は、救急医療功労者医療機関として 厚生労働大臣から表彰を受けました

病院長 平林 直樹

長年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献した医療機関として、安佐市民病院は、今年9月8日に厚生労働大臣から表彰を受けました。今年度は、当院を含め個人22名、医師会・医療機関16団体が表彰されました。

当院は、昭和57年（1982年）に救急告示医療機関に指定されて以来約35年間にわたって、広島市北部、広島県北西部、島根県南部の広域医療圏における地域医療拠点病院として、救急患者さんの受け入れを積極的に行なってきました。この度の表彰は、当院における長年の取り組みが認められたものです。

これも一重に、地域の皆様方のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。

これからも、地域の基幹病院として緊急や重症度の

高い患者さん積極的に受けし、質の高い安全・安心な医療を提供して参ります。

当院では現在、平成34年春の近隣の荒下地区への移転改築に向けて、基本設計の取りまとめが大詰め段階を迎えています。新病院では新たに救命救急センターが設立される予定です。今後もより一層、高度急性期医療の充実に取り組んでいく所存です。



育児短時間勤務医師の働き方のご紹介

皮膚科医師 頼田 友里

平成25年度より安佐市民病院で勤務しています皮膚科医師の頼田友里です。幸いにも2人の子供を授かり、第2子出産を機に、今年4月より育児短時間勤務制度を利用して働いています。

育児短時間勤務は、小学校就学に達するまでの子を養育するために、常勤職員のまま、いくつかある勤務形態から選択し、希望する日数及び時間帯に勤務できる制度であり、労働者の権利として育児休業法で規定されています。

私の場合、週3日間の勤務としており、うち2日は午前中外来診察、午後は手術、残りの1日は午前中入院

患者さんの診察や処置、午後は外来手術を行っています。仕事と育児、家事の両立は想像以上に忙しく、現在の生活ではフルタイムでの勤務はまだ想像が出来ないほどで、この制度のおかげで仕事を続けることができと思っています。残務のないように他医師に協力してもらっていることや急患対応当番の免除など、上司、同僚、看護師等職場の皆さん、そして、何より患者さんのご理解ご協力なくして、この勤務形態で働くことはできないと日々痛感しており、皆様に深く感謝申し上げます。



糖尿病看護認定看護師としての1年の活動を振り返って



糖尿病看護認定看護師
山崎 優介

糖尿病看護認定看護師として活動を始め、今年で2年目となります。1年という短い期間ですが、様々な役割の中充実した日々を送らせていただいています。ありがたくもこの紙面で執筆する機会をいただいたので、この1年間の活動を振り返り、感想を述べさせていただきます。

私がこの1年特に力をいれたのは、外来での活動でした。外来患者さんで、なかなか療養が上手いかない方に対して面談をしています。外来に来られる方は家で生活をされているため、誘惑も多く療養

が難しくなることも多々あります。例えば、お菓子をやめられない、飲み会が重なった、などです。私は患者さんからこういう話を聞いたとき、反対にとてうれしくなります。なぜならば、出来ていないことを打ち明けていただけるくらい、心を許してもらえていると思うからです。その状況で実現可能なことを一緒に考え、病気と生活の折り合いをつけていけるように支援していきます。そして、患者さんの結果がよくなったときには、心の底からうれしくなり、患者さんと本気で喜んでしまいます。こういうときに、看護師になってよかったと思います。まだまだ未熟者ですが、頑張っていきますので、今後ともよろしく願いいたします。

連携医療機関のご紹介

日頃より大変お世話になっている地域の先生方をご紹介します。



院長

矢野 貴彦先生

所（NIH）に勤務後、安佐市民病院に9年間お世話になりました。

2000年に可部南に開業し、今年で17年目になります。

一般皮膚科と皮膚アレルギーを中心に、診療を行っています。開業当初は手術も行っていたのですが、現在は手術が必要な患者さんは安佐市民病院を中心に紹介させて頂いています。

当院は診療圏が広く、安芸太田町、安芸高田市、三次市、島根県邑智郡などから沢山来て頂いておりますが、多く

やの皮ふ科

は『なかなか治りにくいので遠くから来ました』と言う患者さんです。当院で診断治療ができれば良いのですが、診断がつきにくい患者さんはやはり安佐市民病院が頼りになります。特に、皮膚科は（私以外の）歴代部長が選りすぐりの先生方で、現在は柳瀬哲至先生をはじめとする先生方には、いつもの確な診断治療をして頂いています。また、皮膚科以外の各科の先生にもお世話になっております。紹介で一番のポイント、何が目的で紹介されたかを的確に判断し、患者さんに満足して頂くことだと思います。その点、安佐市民病院は安心して紹介できる病院です。今後ともよろしくお願いたします。



〒731-0223

広島市安佐北区可部南4-9-41

TEL (082) 819-1170

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～13:00	○	○	○	○	○	○	—
午後 15:00～18:00	○	○	○	—	○	—	—

安佐市民病院からのお知らせ

医師からの入院・検査などの説明時間について のお願い

安佐市民病院では、患者の皆様へ安全・安心で質の高い医療を提供するため、特に医師が通常の労働時間を大幅に超えて対応しています。一方、この長時間労働は、医師の健康に悪影響を及ぼし、また、医療事故につながる誘因の一つにもなるため、これを是正していく必要があると考えています。

このため、今年7月から、入院・検査などのご説明は、原則として開院時間内（午前8時30分～午後5時15分）に行わせていただいています。皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

安佐市民病院健康祭りを11月11日（土）に開催 します

安佐市民病院では、地域に開かれた病院として、また、地域から愛される病院になるため、毎年「健康祭り」を開催しています。楽しみながら、健康について知っていただき実践していただきたいという思いで開催しています。多数のご参加をお待ちしています。

日 時 平成29年11月11日（土）10時～14時
場 所 安佐市民病院北館2階、北館周辺駐車場
催し内容

- 健康チェックコーナー、よろず相談、体験コーナーほか
- 演奏会、健康体操、健康ウォーキングほか
- 白バイ・救急車展示、食べ物販売、新鮮野菜販売、バザーほか

外来患者用の駐車場が110台増えました

安佐市民病院は、1日約800人の外来患者が来院されており、開院日の午前中は駐車場が混雑するとともに、駐車場待ちの車により周辺道路に渋滞が発生していました。

このため、病院周辺の民間駐車場を借上げて、今年7月から外来患者用の駐車場としてご利用いただいています。これにより、本院の駐車場は110台増えて384台になり、以前よりスムーズに駐車できるようになりました。



体験コーナー



健康体操

ホームページアクセス情報（6月～8月）

◆独立行政法人広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院公式サイト www.asa-hosp.city.hiroshima.jp

順 位	全 体	件 数	順 位	診 療 科	件 数
1	アクセス アクセス・施設	6,629	1	整形外科	4,755
2	初診の方 外来のご案内	5,527	2	産婦人科	4,558
3	整形外科 診療科案内	4,755	3	外科	3,147
4	産婦人科 診療科案内	4,558	4	循環器内科	3,067
5	採用情報 医療関係者の方へ	3,712	5	看護部	2,652
6	外科 診療科案内	3,147	6	内科	2,487
7	循環器内科 診療科案内	3,067	7	消化器内科	2,476
8	院長挨拶 病院概要	2,673	8	総合診療科	2,009
9	看護部 診療科案内	2,652	9	脳神経外科・脳血管内治療科	1,935
10	内科 診療科案内	2,487	10	小児科	1,842

病院の裏側 ー第1回薬剤部ー

薬剤部長 宮森 伸一

今回から新企画「病院のウラ側」をお届けします。
第1回は薬剤部です。

現在薬剤部には薬剤師26人薬剤助手4人が勤務しており、そのうち12人が20代の比較的若い部署です。今年度の薬剤部のスローガンは「笑顔から始まるおもてなし」とし、患者さんの前に姿を現す職員は、にこやかな対応を心がけています。

主に入院患者さんの薬を作る調剤室は交代で4名の薬剤師が担当していますが、みな注意力全開で仕事を進めています。そして広くない薬局ですが、ここでは



職員が老若男女平等に、縦横無尽に走り回ります。患者さんの薬を正確に作るには気力体力が必要です。若い薬剤師は新しい知性と体力で、50代になった筆者

は経験と根性を武器に、お一人お一人の薬を調剤していきます。目が良くないと鑑別が難しい薬もあり、時に巨大なルーペで見直します。安心安全になりふり構うことはありません。「薬の専門家」といわれる薬剤師は、患者さんの前では笑顔と知性を前面に、しかし裏では泥臭く働いています。休憩中は仕事を忘れる者から、ジャンクフード片手に寸暇を惜しんで仕事をする者まで様々です。



私たちが患者さんと、病院の中でお会い出来る機会は限られていますが、薬の背後に薬剤部の職員を感じていただければ幸いです。これからも、よろしく願いいたします。



患 者 の 権 利

広島市立安佐市民病院は、患者の権利に関する「リスボン宣言」を擁護し、患者の最善の利益のために安全で質の高い医療を目指します。

- 1. 良質の医療を受ける権利**
良質で適切な医療を公平に受ける権利があります。
- 2. 情報を知る権利**
ご自身の病状や治療等に関して十分な説明と情報を得る権利があります。
- 3. 自己決定の権利**
ご自身の健康状態について十分な説明を受け、ご自身の自由な意思で検査や治療方法を選ぶ権利があります。
- 4. 選択の自由の権利**
病院あるいは保健サービス施設等を自由に選択し、変更する権利があります。
セカンド・オピニオン（別の医師の意見を求める権利）を求める権利があります。
- 5. 健康教育を受ける権利**
健康的なライフスタイルや、疾病の予防および早期発見等に関する情報を与えられた上で自己選択（インフォームド・チョイス）できる権利があります。

6. 個人情報・プライバシーが守られる権利

医療従事者が医療上知り得た個人情報は保護され、プライバシーが守られる権利があります。

7. 尊厳が守られる権利

個人として尊重され、尊厳を保ち安楽に終末期を迎えるための、あらゆる可能な支援を受ける権利があります。

お 願 い

当院で安全で質の高い医療・看護が適切に受けられるためご協力をお願いします。

- ・ご自身の健康に関する情報をできる限り正確に伝え、医療従事者と共同して診療に参加してください。
- ・快適な療養環境の維持に協力をお願いします。
- ・医療安全の実践に協力をお願いします。
- ・病院の規則を守ってください。
- ・他の患者の療養に支障を与えないように配慮をお願いします。
- ・医療人の育成に協力をお願いします。
- ・現在考えられる安全な臨床医学の範囲を超える要求には応じられないことをご承知ください。